

3月13日～25日、ワシントン条約の会議が開かれます。

3月13日～25日、第15回ワシントン条約締約国会議がカタールのドーハで開催されます。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することになりました。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

会議で何が決まるのか？

必ずとりあげられる議題のひとつに**附属書**の改正提案というものがあります。ワシントン条約の締約国会議では、実際に**国際取引を禁止や規制**の対象にする動植物が決められます。その結果によって、輸出入や海外から持ち込む際にこれまで自由であった動物や植物の製品も許可が必要となったり、まったく輸出入ができなくなったりします。



附属書 I



附属書 II



附属書 III

附属書改正の行方を考えてみませんか。

国際取引の禁止や規制のランクを決める附属書ですが、会議のたびに、必要に応じて改正について議論されます。新たに規制の対象とするものや、規制を緩くするものなど、会議全体のなかでも大きな議題となっています。

↓ ウェブサイトで公開中。

● 「附属書改正提案の分析」

各提案に関し、トラフィックが取引や利用について、IUCN（国際自然保護連合）が生物学的な情報や生息状況について情報を集め、この分析結果にまとめています。

● 「トラフィックの見解」

トラフィックは、総合的また客観的に分析結果を検討し、それらに対する見解をまとめ公開しています。各提案に対し、支持あるいは不支持を理由とともに述べています。

提案を考慮する際にどこかポイントとなるかが整理されており、内容を具体的に検討するのに役立つ資料となります。



締約国が提案を判断する際の参考として利用されます。

食品、ペット、薬など、日本人に関係が深い動植物も含まれているかもしれません。

各国より42の附属書改正提案が提出されています。（以下抜粋）

▲ 附属書 I への掲載が検討されます。

ホッキョクグマ（附属書 II → 附属書 I）
大西洋クロマグロ（掲載なし → 附属書 I）
ニシキトゲオアガマ（附属書 II → 附属書 I）
カイザーツエイモリ（掲載なし → 附属書 I）

©David Jenkins / WWF-Canada



©Chris Martin Bahr / WWF-Canon



©Brian J. Skerry / National Geographic Stock / WWF



▲ 附属書 II への掲載が検討されます。

ノダレトゲオイグアナ（掲載なし → 附属書 II）
サタンオオカブト（掲載なし → 附属書 II）
アカメアマガエル属全種（掲載なし → II）
シュモクザメ類、ヨゴシ、ニシネズミザメ、
アブラツノザメ（掲載なし → 注釈付で附属書 II）
宝石サンゴ類（掲載なし → 附属書 II）
多数のマダガスカル植物種
（掲載なし → 附属書 II） など

▼ 規制を緩くする提案が出ています。（ダウンリスティング）

ボブキャット（附属書 II → 掲載なし）
ナイルワニ（附属書 I → 一部を附属書 II）
モレレットワニ（附属書 I → 条件付きで附属書 II）
アフリカヤマモガシ、ナンアヤマモガシ
（附属書 II → 掲載なし） など

※附属書改正提案は学名で記載されています。和名はトラフィック調べによる。

COP15特集ページ <http://www.trafficj.org/cop15/>

関連ウェブサイト
トラフィックネットワーク(英語) : www.trafficj.org
ワシントン条約事務局(英語) : www.cites.org

TRAFFIC
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン
(略称: トラフィックジャパン)
TEL: 03-3769-1716 E-mail: traffic@trafficj.org

トラフィックジャパンの
ここに注目!

海洋生物は
日本と深い関わりが